

第6回 最先端創薬科学 ワークショップ[®]

日時：令和3年3月17日（水） 16：00～17：20

会場：長崎大学文教キャンパス スカイホール

最大参加人数：130名（新型コロナ対策のため1席ずつ間隔を空ける）。
その他大学の開催方針にのっとり開催いたします。

座長 麓 伸太郎（薬剤学分野、准教授）

講演 1 岸川 直哉（薬品分析化学分野、准教授）

「非酵素的化学発光イムノアッセイのための
キノン型抗体標識試薬の開発」

Ref. El-Maghrabey M, Kishikawa N, et al., Quinone-based antibody labeling reagent for enzyme-free chemiluminescent immunoassays. Application to avidin and biotinylated anti-rabbit IgG labeling. *Biosensors and Bioelectronics*, 160: 112215 (2020).

座長 齋藤 義紀（天然物化学分野、准教授）

講演 2 栗山 正巳（医薬品合成化学分野、准教授）

「ジアリールヨードニウム塩を用いた2-ピリドン類の
N-およびO-アリール化反応：メタルフリー条件に
おける塩基依存的選択性逆転」

Ref. Kuriyama M, et al., N- and O-arylation of pyridin-2-ones with diaryliodonium salts: base-dependent orthogonal selectivity under metal-free conditions. *Chemical Science*, 11: 8295-8300 (2020).

主 催



長崎大学薬学部

SCHOOL OF PHARMACEUTICAL SCIENCES, NAGASAKI UNIVERSITY

下村脩博士ノーベル化学賞顕彰記念創薬研究教育センター
黒田 直敬 センター長、城谷 圭朗 センター教員 (Tel: 095-819-2436)

本ワークショップでは、インパクトの高い論文を発表された先生にご講演いただきます。
対象は長崎大学の全教員と学生で、参加費は無料です。